

やはば

議会だより

226
2023.10.25
岩手県
矢巾町議会



予算決算常任委員会

令和4年度決算を徹底検証 4

一般質問12議員が登壇

ズバリ 町政を問う 11

議会や議員活動についてお話しませんか

11月に町民と議員をつなぐ会を開催します 24

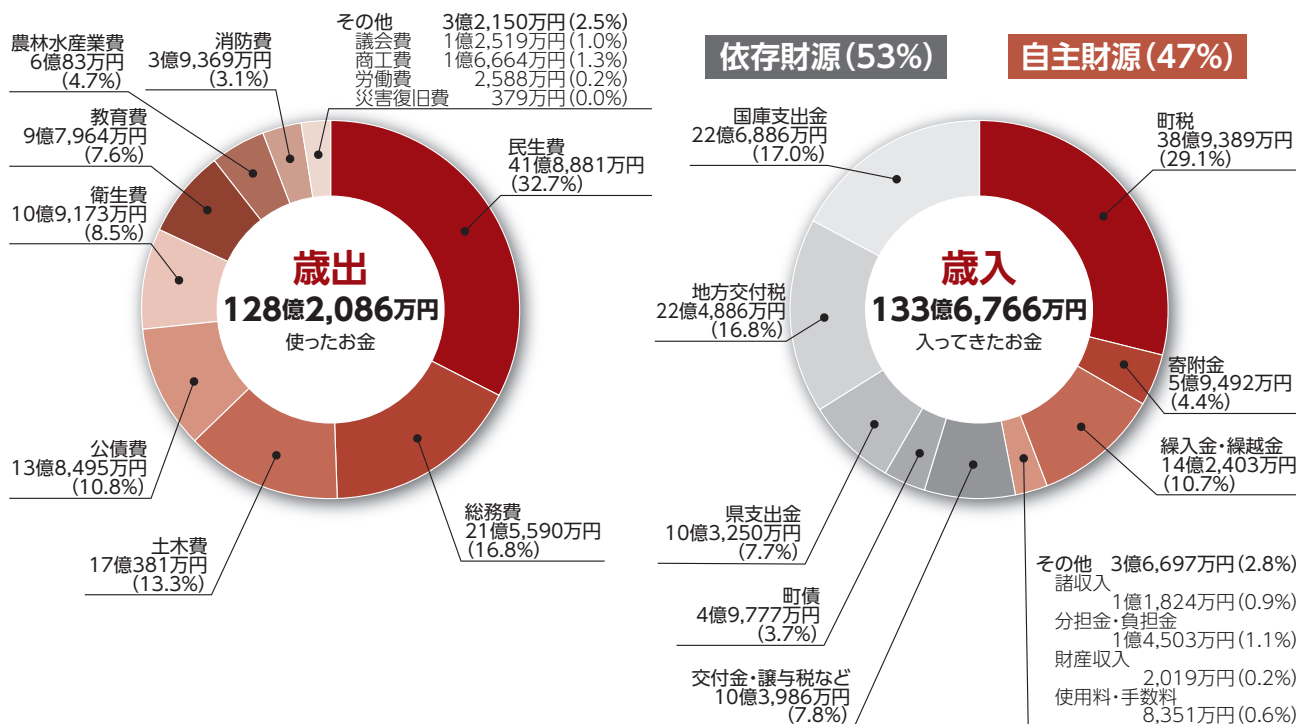
土木費増～道路関連～事業の拡大～

令和4年度の一般会計と特別会計、企業会計を審査し、原案のとおり認定しました。

質疑と答弁は4ページから

一般会計

金額は1万円未満四捨五入



監査意見

財政計画により健全な財政運営を

令和4年度決算の一般会計と3つの特別会計の実質収支額は合わせて約7億6157万円余を計上している。実質収支比率と自主財源比率は、前年度と比較して好転したものの、財政構造の弾力性を示す経常収支比率および財政構造の硬化化を示す公債費負担率は悪化しており、依然として非常に厳しい状況である。

水道事業会計と下水道事業会計の経営状況は、いずれも純利益を計上しており、健全な事業運営が行われていた。水道は私たちの暮らしに欠かすことのできない重要なライフラインであることから、今後も、安全で安心な水道水を供給できる持続可能な事業経営を期待する。

令和4年度は、第7次町総合計画・後期計画に基づき、様々な施策の推進に当たるとともに、新型コロナウイルス感染症対策及び物価高騰対策

代表監査委員 高橋 憲康
 監査委員 沼田 由子

なごに係る施策を進め、町民の生活環境の整備や地域経済の活性化に取り組みました。今後も、自主財源の確保に努めるとともに、中長期的な財政見通しの計画のもと限られた財源の中で、効率的・効果的な行政運営を推進するとともに、町債発行規模の適正化、投資的経営及び公債費の平準化を図り、健全な財政運営を望む。



審査意見書の補足説明をする高橋代表監査委員

認定

コロナ対策費減

予算決算常任委員会（昆 秀一委員長・委員16人）は9月11日から21日まで行われ、

特別会計

金額は1万円未満四捨五入

国民健康保険事業特別会計

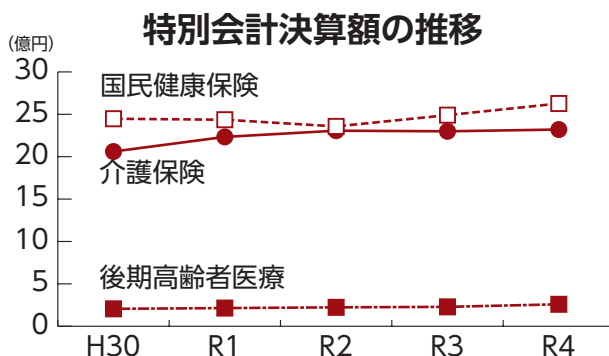
歳入 26億4,930万円
前年度比 5%増↑
歳出 26億2,714万円
前年度比 5.5%増↑

介護保険事業特別会計

歳入 25億2,604万円
前年度比 1.6%増↑
歳出 23億2,037万円
前年度比 0.9%増↑

後期高齢者医療特別会計

歳入 2億6,149万円
前年度比 12.6%増↑
歳出 2億5,900万円
前年度比 13.2%増↑



企業会計

金額は1万円未満四捨五入

		収入	支出	収入支出差引額
水道事業会計	収益的	9億2,982万円	6億6,024万円	2億6,958万円
	資本的	6,341万円	6億3,241万円	▲5億6,900万円
下水道事業会計	収益的	14億434万円	13億4,013万円	6,421万円
	資本的	2億602万円	5億7,304万円	▲3億6,702万円

水道事業、下水道事業の資本的収支で不足する額は、減価償却などの現金の支出を伴わない損益勘定留保資金などで補てんしているんだじゃ！



じゃじゃっとくん（水道やはばキャラクター）

令和4年度 決算を徹底検証

議長を除く17名の委員で構成される
予算決算常任委員会（昆秀一委員長）
では、令和4年度の決算に関する質疑
が繰り広げられました。

一般会計

財政

軽自動車税について

質問 軽自動車税の環境性能割が前年度比増となったが、令和5年度も増える想定か。

回答 令和4年1月取得分から軽減の対象となる車両の要件が厳しくなり、課税台数が増加したことによって前年度比増となった。令和5年度においても、車両単価が上がるのと課税台数が増える可能性がある。



防災

防災ラジオの普及を

質問 もっと防災ラジオを町民全体に普及できないか。

回答 喫緊の課題と捉えている。令和5年1月から、浸水想定区域・土砂災害警戒区域に居住する住民を対象に無償配布枠の拡大や、防災マップの説明会での周知などを通じて普及率は増加傾向である。今後も無償配布枠の拡大や周知を徹底。また、ラジオ1台あたりの金額も再検討する。

町備蓄食品の

ローリングストック

質問 災害時の備蓄食品で、消費・賞味期限が迫っているものの処理方法は。

回答 期限内に各自治会の防



町備蓄食品一例



防災ラジオ
65歳以上の人がいる世帯に無償貸与
(総務課防災安全室)

災訓練や、町消防演習・総合防災訓練で提供し消費する。また、不足分は都度補充するという、ローリングストック方式で管理する。

総務

企業からのふるさと納税

質問 企業版ふるさと納税の寄附件数と寄附金活用先は。

回答 公表可の企業は、株式会社東北ターボ工業、株式会社事務機商事、大和財託株式会社、計1140万円の寄附が寄せ、計1140万円の寄附があった。家族全員が健康で笑顔がたえない家庭づくり事業に関連した事業で活用。

婚活促進事業

矢あコンの強みは

質問 マッチングアプリなどの利用が増えていいるなか、町の婚活促進事業は、どのような差別化を図っているか。

回答 参加料が比較的安価であることや、個人情報流出の

まちづくりサポーター 発掘育成の成果

質問 住民主体の地域活性化や町内外に向けた情報発信の担い手「まちづくりサポーター」の発掘育成の成果は。

回答 サポーター候補者の発掘を兼ねる「カダリ場」は、年20回、100名超の参加。町の知識人を目指すゼミ「やはばワイワイアカデミー」は、年6回、延べ72名の参加。実際にサポーターになった方は町内飲食店の期間限定メニューの開発や、情報誌の発行などを手掛け、まちづくりにご貢献いただいた。

産業・建設

インターンシップの支援について

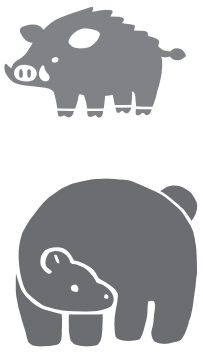
質問 大学生などのインターンシップ生に対し、交通費や宿泊費を補助しているが、その宿泊先は町内限定か。

回答 町内宿泊施設の利用促進を図る目的もある。町内には保養センターを含め3つの宿泊施設があり、町外在住のインターンシップ生には、ぜひ活用いただきたい。

有害鳥獣駆除の件数は

質問 有害鳥獣駆除委託料は35万円であるが、駆除件数は。

回答 令和4年度の駆除件数は、クマ3頭(和味・広宮沢・煙山)、イノシシ4頭(広宮沢)である。



畜産農家への

緊急支援給付金の実績は

質問 畜産農家に対する緊急支援給付金の実績は。

回答 コロナ対策の臨時交付金を活用した畜産農家に対する緊急支援給付件数は計35件。内訳は、牛33件、鶏1件、豚1件である。

特産品開発に町の特徴を

質問 令和4年度の特産品開発は、小松製菓とタイアップした山ぶどうの生南部サブプレの開発が新たな取り組みであったが、期間限定の理由は。

回答 特産品開発にあたり、矢巾町の特徴的なものとして山ぶどうに着目したが、希少で通年生産ができないことから期間限定とした。現在、収穫量を増やすため、ほ場面積を拡大するなどの取り組みを進めている。

ふるさと納税返礼品

今後の取り組みは

質問 ふるさと納税の返礼品は、今後どのような取り組みの強化を検討か。

回答 楽天トラベルのクーポンやPay Payの商品券、体験型返礼品を充実させることで、実際に矢巾町に来てもらうという仕組みを強化し「矢巾ファン」を増やす取り組みを積極的に進めたい。

ブロック塀撤去の支援は

質問 危険と思われるブロック塀を町内で見かけるが、撤去の支援は。

回答 年間の問い合わせは数件。道路や水路、公園などの不特定多数が出入りする箇所面するブロック塀の撤去を希望があり補助をした件数は2件であった。

都市公園の使用状況は

質問 都市公園の使用状況と管理状況は。

回答 町が管理している都市公園は、広宮沢公園・鹿妻公園・北川公園の3カ所。令和4年度の利用状況は、広宮沢公園の野球場87件・テニスコート29件、鹿妻公園のソフトボール場28件の計114件。また、遊具の保守点検や害虫駆除、緑地の植栽管理などを行っている。



PCB含有機器

令和4年度の処分量は

質問 ※PCB含有機器の処分量と、まだ処分がされていないものの処分完了時期は。

回答 流通センター内にある街路灯の安定器に高濃度PCBが含まれていたため、ドラム缶4缶分、125基の安定器を処分。把握している分については、令和4年度ですべての処分が完了している。



令和4年度の特産品
山ぶどうの生南部サブプレ

※PCB…ポリ塩化ビフェニルの略。人工的に作られた主に絶縁用の油状の化学物質で、安定器などに使用され、毒性がある。

福祉

町内の通所施設数は

質問 通所施設に通う障害児に対する給付があるが、町内の通所施設は何カ所か。

回答 放課後デイサービス事業所10カ所あるほか、県立療育センター内にもある。

住宅入居等支援とは

質問 町内各事業所で行う住宅入居等支援の内容は。

回答 町内各事業所での様々な相談業務の一環として、障害などで住居探しや入居手続きが困難な場合に支援を行う。

ひとり暮らし老人

緊急通報システム

質問 ひとり暮らし老人緊急通報システムの現在の利用者数と要件緩和の考えは。

回答 現在の利用者数は10人。令和4年度から非課税世帯の要件は撤廃。65歳以上の一人暮らしの方で、発作を伴う持病や慢性的な持病を有し常時注意を要する方、入院入所されていない方、同一地内もしくは同じ建物内に親族がいない方などの要件がある。緊急通報先を3人確保することも含めた制度の内容を、本人や遠方にお住まいのご家族に説明している。要件緩和については、利用者のご意見などを踏まえ検討する。

病や慢性的な持病を有し常時注意を要する方、入院入所されていない方、同一地内もしくは同じ建物内に親族がいない方などの要件がある。緊急通報先を3人確保することも含めた制度の内容を、本人や遠方にお住まいのご家族に説明している。要件緩和については、利用者のご意見などを踏まえ検討する。



子育て

子育て世帯の居場所

質問 地域子育て支援拠点と事業内容は。

回答 さわかかハウスのアイ広場、不動児童館のうさちゃんの部屋、東児童館のさくらんぼ広場の3カ所で運営しており、子育て世帯の居場所となっている。

産前産後のサポートは

質問 産前産後サポート教室の委託先と内容は。母親だけでなく、父親も参加可能か。

回答 NPO法人やはばゆりかごに委託しており、月に1回さわやかハウス、月に2回やはば1くにおいて、妊産婦が気軽に集い、妊娠子育てなどに関する悩みの相談や孤独解消のサポートを行う。

さわやかハウスでは、親子で参加いただき、ベビーフォトブックづくりや助産師や保育士が育児に関する相談に応じている。

父親や祖父母も参加できる。



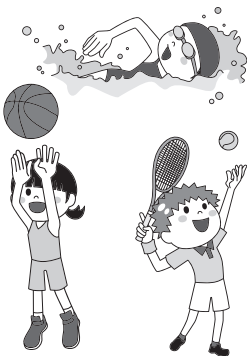
教育・文化

プール老朽化への対応は

質問 学校プールの老朽化に伴う修繕の今後の方向性は。

回答 スポーツ施設での水泳授業検討は令和4年度に行い、学校プールの現状確認後、修繕で対応する選択をした。

毎年現地確認をすべての学校で行い、プールの修繕箇所の対応は順次行っている。



部活動指導員の配置状況は

質問 部活動指導員配置は。

回答 矢巾北中学校のハンドボール部とソフトテニス部に各1人配置。バスケットボールや野球、その他の部活においても指導員不足であり、学校と協議しながらハローワーク求人などで募集中。

給食の地産割合は

質問 学校給食の町内産農作物の使用割合は。

回答 令和4年度の町内産農作物の使用率は51.5%。できるだけ町内・県内・国内産を購入している。

佐々木家曲家の活用を

質問 令和4年度は佐々木家曲家の茅葺屋根の葺き替えをしたが耐久年数は。また、現状の利用者数と今後の活用は。

回答 葺き替えは平成13年度に1回目、令和4年度に2回目。地震や気象状況で状態が変わるため専門家に聞きながら耐久年数を見極めたい。

昨年利用者は1543人。

徳丹城の歴史にも触れられる様々なイベントを開催し一体的活用を進めたい。



令和4年度決算について

討 論

表決に付される前に、令和4年度決算に対し、3人の議員から反対と賛成の意見がありました。



着実な行政運営を評価

異動受付支援システムや農業委員会の現地確認アプリの導入など、DX推進に各課が取り組んでおり、便利で効率的な町政に向けた様々な事業を評価する。また、大きな事業も日々の小さな仕事の積み重ねであり、目立たない仕事にもコツコツと着実に取り組む職員の姿に矢巾町の明るい未来を感じる。よって4年度決算に賛成する。

村松 信一



附帯事項を認識し行政運営への反映を

高水準の各種税収納率、町民の健康づくり推進、コロナワクチン接種率向上、やはば1くを中心とした町の賑わい・魅力発信などを評価する。今後はパランスのとれたまちづくり、行政運営に期待して、令和4年度の各6事業決算に賛成する。

赤丸 秀雄



まちづくりの方向性を再検討すべき

①財政難の状況を改善し、町民の身近な要求に応えることに特化した事業を推進すべき。②市街地循環バス・予約型乗合バスは、交通弱者に配慮された運用に再構築すべき。③町職員の待遇・労働環境を改善すべき。以上3つの観点から反対する。

小川 文子

審査意見

18の意見を付し可決

予算決算常任委員会
昆 秀一 委員長

次のとおり附帯決議を付して議長に報告しました。

(内容要約)

- ふるさと納税は、返礼品・サービス等の工夫でリピート率向上を
- 市街地循環バス・予約型乗合バスは、交通弱者の救済を前提に利便性の向上を
- 交通事故防止のため、標識や信号機設置の強化を
- 第7次総合計画検証を重層的支援体制整備事業で、さらなる横断的支援体制の整備を
- 温室効果ガス削減のため、さらなる脱炭素対策を
- 成人検診のさらなる受診率向上を
- 農村基盤整備等補助金は、さらなる支援体制の充実を
- 野生鳥獣による農産物・人的被害防止対策の取り組み強化を
- 特産品開発にあたっては、通年販売も視野に入れた取り組みを
- 西部地区観光資源を一体的に広報し、誘客増加を
- 地区計画制度とトップセールスによる企業誘致の取り組み強化を
- 洪水対策対応・災害防止を
- 生活道路整備で、町民の利便性・安全確保を
- 防災ラジオの一層の普及を
- 消防団員確保のため、学生・企業等に対する協力、働きかけ強化を
- ビックブルズ支援体制は町民を巻き込んだスポーツのまち活性化をより一層安定した上下水道事業を

がんばる中小企業を応援

令和5年度矢巾町議会定例会を開催しました。

7月会議…7月10日
 8月会議…8月3日
 9月会議…9月4日から21日（18日間）
 10月会議…10月6日

7月会議

補正予算

主な歳入

- ▽まち・ひと・しごと創生寄附金（企業版ふるさと納税） 13,000千円
- ▽芸術文化振興基金繰入金 6,985千円

で2つの基盤で運用してきた一方が完全停止。同型の交換基盤がないことや、もう一方の基盤も停止の恐れがあるため、新たな基盤に入れ替える。工期は6カ月。期間中は代替りの基盤で運用するため、イベントなどへの影響はない。

8月会議

補正予算

主な歳入

- ▽財政調整基金繰入金 5,000千円

主な歳出

- ▽省エネ家電買換促進事業費 5,000千円

9月会議

補正予算

主な歳入

- ▽地方特例交付金 1,810千円
- ▽普通交付税 141,557千円
- ▽デジタル基盤改革支援補助金 2,112千円
- ▽保育対策総合支援事業費補助金 700千円

主な歳出

- ▽庁内情報システム改修業務委託料 2,761千円
- ▽戸籍総合システムの標準化・共通化に係る業務委託料 2,112千円
- ▽介護施設等整備事業費補助金 4,758千円
- ▽いわて子育て応援在宅育児支援金 3,000千円
- ▽各種任意予防接種委託料 2,400千円
- ▽農作物災害復旧対策事業補助金 1,366千円
- ▽畜産農家緊急支援事業給付金 2,300千円

イベントなどへの影響は

質問 田園ホール照明舞台設備工事の工期は。また、イベントなどへの影響は。

回答 照明舞台設備はこれまで



田園ホール照明舞台設備（照明操作卓）
この操作卓内にある基盤（CPU）を入れ替える

申請受付前に

充分な周知を

質問 第1弾では、事業を知った時点で受付が終了していたという町民の声もある。申請前に十分に周知が必要と思うが、今回の周知方法は。

回答 町ホームページへの掲載とチラシの全戸配布により周知の期間を確保した後、申請受付を開始する。

- ▽まち・ひと・しごと創生寄附金（企業版ふるさと納税） 2,000千円
- ▽学校教育施設等整備事業債 7,400千円
- ▽一般寄附金 480千円
- ▽学校施設環境改善交付金 4,949千円

- ▽各種任意予防接種委託料 2,400千円
- ▽農作物災害復旧対策事業補助金 1,366千円
- ▽畜産農家緊急支援事業給付金 2,300千円
- ▽がんばる中小企業者応援事業補助金 1,000千円

▼道路台帳整備委託料

8,035千円

▼除雪委託料

151,971千円

▼児童生徒各種大会参加費補助金

9,782千円

▼小学校整備事業工事請負費

14,850千円

▼田園ホール管理事業工事請負費

1,430千円

中小企業者補助の実績は

質問 がんばる中小企業者応援事業補助金について、令和4年度の経過・実績は。

回答 令和4年度は113件、1700万円余の補助を行った。今回の補正においては1件あたり上限20万円として生産性向上や販路開拓などに積極的に取り組む地域事業者を応援する。



行政区再編に伴う

システム改修内容は

質問 庁舎内情報システム・統合型GISの改修業務内容は。

回答 行政区再編に伴い行政区の境目が変更となるため、図面作成や、各世帯がどの行政区になるのかなどの情報を統合型GISシステムに落とし込む改修を行う。

带状疱疹ワクチン接種

見込み人数は

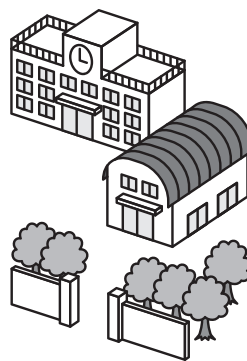
質問 各種任意予防接種として、带状疱疹ワクチンの接種費用が計上されたが、生ワクチンと不活化ワクチンの接種人数の見込みは。また、接種を希望する際の手続き方法は。

回答 先行自治体の実績を基に、生ワクチン100人、不活化ワクチン100人の計200人を見込んでいる。接種希望者には接種券を発行する。2回接種が必要な不活化ワクチンについても1回の申請で2回分受けられるよう対応する。

学校LED化工事時期は

質問 煙山小学校と不動小学校の体育館照明LED化工事の時期は。また、町内の学校施設でLED化が必要な箇所は他にあるか。

回答 冬休み期間中を想定。今回の工事をもって、すべての学校施設でLED化が完了。



10月会議

補正予算

主な歳入

▼財政調整基金繰入金
10,856千円

主な歳出

- ▼庁舎管理事業費 2,746千円
- ▼省エネ家電買換促進事業費 5,270千円
- ▼都市公園維持補修事業費 3,300千円

人事

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

高 館 精 記 さん
(西徳田2区)

教育委員会委員の任命に同意

大 坊 一 男 さん
(桜屋)



省エネ家電買換状況は

質問 第2弾(9月20日以降)で受け付けた省エネ家電買換補助金の申請件数と、買い換えた家電の割合は。また、省エネ効果の試算は。

回答 9月20日から受け付けた申請件数は210件。エアコンが約4割、冷蔵庫が約6割の申請。

第1弾の申請状況から試算した省エネ効果は1世帯あたり年間電気量は3・5%減。CO₂年間排出量は6・8トンの減。第2弾の申請も併せると約3倍の減となる見込み。

傍聴時にご協力いただき、ありがとうございました。令和5年度町議会定例会8月会議、9月会議、10月会議では、役場4階議場の修繕工事のため、同階にあります大会議室を仮議場とし、会議を行いました。傍聴時にご不便をおかけいたしました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

各議案の採決状況

令和5年定例会7月会議

議案番号	提出議案	議員名																採決結果		
		高橋 恵	高橋 敬太	横澤 駿一	ササキ マサヒロ	吉田 喜博	藤原 信悦	齊藤 勝浩	小川 文子	木村 豊	小笠原 佳子	山本 好章	高橋 淳一	水本 信一	村松 秀一	昆 丸秀	赤上 知子		谷 知子	
第48号	町道谷地線交通安全施設整備その1工事の請負契約締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第49号	令和5年度矢巾町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

令和5年定例会8月会議

第50号	町道島線交通安全施設整備その4工事の請負契約締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第51号	令和5年度矢巾町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

令和5年定例会9月会議

第52号	固定資産評価審査委員会の委員の選任に同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第53号	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第54号	矢巾町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第55号	令和5年度矢巾町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第56号	令和5年度矢巾町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第57号	令和5年度矢巾町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第58号	令和5年度矢巾町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第59号	令和5年度矢巾町水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第60号	令和5年度矢巾町下水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第61号	令和4年度矢巾町一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	欠	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第62号	令和4年度矢巾町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	欠	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第63号	令和4年度矢巾町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	欠	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第64号	令和4年度矢巾町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	欠	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第65号	令和4年度矢巾町水道事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	欠	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第66号	令和4年度矢巾町下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	○	○	欠	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第67号	令和4年度矢巾町下水道事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	欠	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第68号	令和4年度矢巾町下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	○	○	欠	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第69号	教育委員会の委員の任命に同意	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可
発議6号	第8次矢巾町総合計画策定調査特別委員会の設置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

令和5年定例会10月会議

第70号	令和5年度矢巾町一般会計補正予算(第7号)	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
------	-----------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

○=原案に賛成 ●=原案に反対 欠=欠席 可=可決 否=否決 退=退席 注: 廣田清実議長は採決に加わらない。

議会で決めたこと

ズバリ

町政を問う

一般質問

一般質問は、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来の方針など諸問題について質問を行い、町の姿勢を明らかにするものです。

9月会議では議員12人による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。掲載の質疑内容は、質問した議員の原稿によるものです。

●村松信一議員……………P12

- ①令和5年度施政方針による事務事業並びに継続事業の進捗状況について
- ②令和5年度教育行政方針について

●昆秀一議員……………P13

- ①強度行動障害への支援を
- ②防災対策について
- ③ウェルビーイングのまちづくり
- ④薬物乱用防止対策について

●藤原信悦議員……………P14

- ①徳田地区にある養豚農場の事業譲渡後の異臭対策および施設の建替えについて
- ②第8次矢巾町総合計画策定について
- ③地元生まれ育った若者が町内に住み、働き続けられる環境づくりについて

●谷上知子議員……………P15

- ①令和6年度徴収開始の森林環境税と林業活性化について
- ②なり手不足のコミュニティ役員対策について
- ③町づくりに寄与する人材育成事業について

●赤丸秀雄議員……………P16

- ①安心・安全な生活の取組みについて
- ②共働き等子育て世帯の支援のあり方について
- ③若い方々の定住施策の推進について

●山本好章議員……………P17

- ①一般国道4号盛岡南道路について
- ②子どもたちの教育環境の充実について

●小川文子議員……………P18

- ①物価高騰対策について
- ②マイナ保険証の問題について
- ③エアコン設置への助成について

●小笠原佳子議員……………P19

- ①学童保育の運営について
- ②不在者投票の電子申請について
- ③障害者手帳アプリ「ミライロID」について
- ④視覚障がい者の情報取得について

●木村豊議員……………P20

- ①小中学校の学校給食費について
- ②会計年度任用職員の待遇について

●齊藤勝浩議員……………P21

- ①人口3万人構想の対応について
- ②矢巾町における「健康長寿のまちづくり推進」と「スポーツのまち」宣言を強化併合した取組みについて
- ③循環型社会構築の取組みについて

●高橋敬太議員……………P22

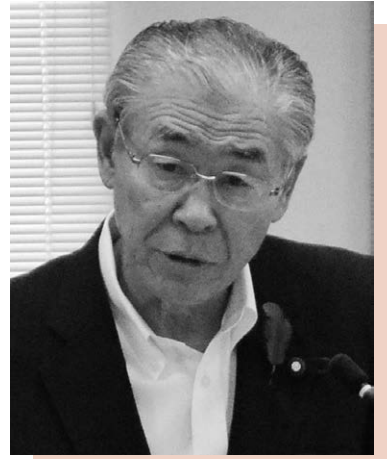
- ①子育てと教育環境について
- ②地域課題の解決と高齢者の活躍について
- ③鳥獣被害対策について

●ササキマサヒロ議員……………P23

- ①矢巾町のさらなる発展に向けた施策の展開について
- ②徳田地区にある養豚農場の悪臭について

※次ページからの各議員の質問と答弁は、紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。詳しい内容は、議会事務局にお問い合わせください。☎019-611-2801

令和5年度の事業進捗状況は 適切な地域づくりに努める



むらまつ のぶかつ
村松 信一 議員
(矢巾未来の会)

質問 認知症は直接関係する家族・事業者・関係機関以外の町民、地域組織は対応が難しいが役割を担う中で行うべき対応、また注意を要する点は何か。

町長 個人や地域組織でできることを、だれもが考え実践していくことである。社会の様々な活動への参画を促し、参加の機会を通じ認知症の方が能力を十分に発揮するため対応も重要である。

質問 認知症予防に効果のある健康チャレンジや各種取り組み活動の訴求が必要なのでは

町長 健康セミナーの機会を利用し、日常の生活の運動や栄養の認知症予防につながるこの話題提供を行い、町民の意識づけを図っていく。

質問 町営住宅について民間賃貸物件や高層化のほか、統廃合や建替えなど、どのような方法を検討中か。

町長 町内アパートなどの需給について民間業者の聞き取りを行い、本町の住宅事情と類似する他自治体の状況を調査中。



認知症予防に効果のある共同作業

質問 産業振興センターの規模・内容、対応する業務についてどのようなお考えか。

町長 農業やヘルスケア産業などの事業分野への拡大を希望する事業者に対し、支援を行う事を想定した情報収集と制度検討の段階である。

質問 共創と近助によるまちづくりについて、まちづくりサポーターや地域コミュニティの構築はどのような充実策をお考えか。

町長 住民参加の総合運営を推進することが重要で、コミュニティからの貴重な声を町政に活かすため要望会を開催している。

質問 地域コミュニティに配布のパソコンは災害時のほかどのような活用をお考えか。

町長 今後、より積極的な運用となるよう多岐にわたる活用方法を検討する。

教職員の働き方改革は 目標を掲げ対応

質問 教職員の働き方改革の具体的事例は。

教育長 時間外在校時間月100時間の教職員「ゼロ」の目標を掲げ、ICT化や文書事務の見直しなどの業務改善を実施。

強度行動障害への支援計画は 行動援護として 盛り込まれている



こん 昆
しゅういち 秀一 議員
(新誠会)

質問 強度行動障害とは個人が感情や行動を制御する困難さを特徴とした精神障害である。その行動障害に対する支援について、福祉計画ではどう盛り込まれているのか。

町長 現在の町障がい福祉計画などでは障がい福祉サービスにある行動援護として盛り込まれている。また次期計画でも内容を検討のうえ、策定を進める。

防災意識の共有は

町民と

最新の情報を共有

質問 防災について大事なことは、まず行政と住民の防災意識の共有が挙げられる。

町 としてはどのようにこの防災意識の共有を図っているのか。

町長 防災意識の共有はもつとも重要な課題の一つと認識している。

町ではこれまで、テレビやラジオなどの各種広報手段の適切な運用や、自主防災組織や防災士の育成、各種防災イベントの開催などを通じ、町民と最新の防災情報の共有を



図っており、今後も継続する。

質問 本町小中学校の防災教育はどのように行われているのか。

教育長 防災教育は、各学校において教科横断的に指導されている。

防災教育を推進することは大切な取り組みであり、今後とも防災教育の充実に努める。

薬物乱用

防止対策を

ポスター掲示など

により周知

質問 薬物乱用は当事者個人の問題にとどまるだけでなく、必ず周囲の人々も巻き込み、多くの悲劇をもたらしてしまう。

町としてはどのように薬物乱用防止を呼びかけ、正しい知識の普及を図っているのか。

町長 普及啓発運動の期間に合わせて、県央保健所と連携してリーフレットやポスターの掲示などにより周知を行っている。

質問 薬物乱用者に対する治療・社会復帰への支援の考え方はどうなっているのか。

町長 県内における薬物関連相談機関である岩手県精神保健福祉センターや県央保健所と連携し、相談対応や治療などについて支援していく。

養豚農場の異臭対策は 自社他農場での事例を活かす



ふじわら しんえつ
藤原 信悦 議員
(町民の会)



早急な対応が求められる施設

質問 新たな合同会社と公害防止協定は締結したのか。

町長 これまでの協定は、事業譲渡を受けた者がそのまま承継する定めであるが、今般は特別な事情もあり、新たに締結することも考えたい。

質問 前事業者は建替えを前提に異臭対策を考えていたが、合同会社はどのように考えているのか。

一般質問 町政を問う

町長 将来的な施設整備の構想はもっているが、当初と状況が異なると伺う。できる対策から実施したい意向である。

第8次総合計画 策定について

課題の選択と集中で 施策実現を

質問 総合計画の基本理念に3つのキーワードを打ち出し出しているが、具体的な説明が必要ではないか。

町長 第7次総合計画の各年度の施政方針の考え方を整理し、できるだけわかりやすく表現した。現在は、公募により基本理念のスローガンの選定を進めている。案を示す段階で詳細説明したい。

質問 総合計画の構成は、網羅的なものではなく、優先度の高いもので構成されるべきと考える。よって、課題の「選択と集中」が求められると考えるが、どのようにお考えか。

町長 近年、事務事業量は増

加傾向にあり、「選択と集中」の考え方は必要と考える。町が行う全ての施策のうち、前期・後期の各4年間に取組むべき重点施策を精選し、着実な推進を図る。目標数値もこの期間での達成を図る。

若者が働き 続けられる町に

地域内経済循環の 強化と経営者育成

質問 企業誘致の重点業種は、

町長 長期的にはヘルス産業や製造業、中・短期的には飲食、娯楽産業で進め、働き続けられる環境づくりに加え、地域内経済循環の強化も図る。

質問 誘致企業との賃金格差や若手経営者の育成をどのように考えるか。

町長 企業の生産性と収益性につながる支援として、矢巾町ががんばる中小企業者応援事業補助金事業を継続・実施。また、関係団体と連携し、若手経営者などの育成を図る。

里山の魅力を次世代へ 町有林の整備を進める



やがみ ともこ
谷上 知子 議員
(矢巾未来の会)

質問 令和6年度より開始する森林環境税と現在の森林譲与税との関連と周知は。

町長 森林環境税は地球温暖化や災害の防止を図るため森林整備に必要な地方の財源を、国民一人一人が等しく負担することを目的に作られた国税。令和6年度より個人町民税均等割が課税される方を対象に一人年額千円が課税され、個人町民税と合わせて納付していただく。

森林環境譲与税は、国が地方の森林整備に係る財源として、市区町村に譲与するものであり、令和元年度より譲与していたが令和6年度からは森林環境税を活用する。町民への周知は、納税通知書発送前に町広報誌やホームページ、チラシなどで行う。

質問 山林の整備と林業の人材育成・防災・バイオマスエネルギーの導入・観光への効果は。

町長 健全な山林の育成整備のために年次計画により、町有林の下刈り・地こしらえと新たに植栽を行い健全な山林の育成の整備を行っている。技術等の伝承は事業の担い手であるNPO法人において行

われている。

また、民間事業者によるバイオマス発電所立地が協定され、発電に係る燃料は間伐した木材を使用する。適切な山林環境は地滑り防災効果が期待される。

町有林の整備に積極的にかわり、南昌山自然公園一帯の環境を保つ。



住民による資源ごみの分別作業（高田1区行政区）

質問 山道を整備し、木の間に花を植え、気軽なトレッキングコースと花の鑑賞ができる活動は。

町長 アジサイの花を植えている活動を聞いてはいるが、本町での予定はない。

コミュニティ

活動への参加は

活動の周知啓発で

質問 なり手不足のコミュニティ役員対策は。

町長 自治会長区長会議での情報交換会は大変好評だった。女性の区長も出ており、各自治会の情報を相互に交換し、共有できる場の創出に努め、自治会活動の啓発を進める。

人材育成 セミナー開催は

関係機関と連携

質問 リーダーの育成は。
町長 婦人団体などの関係機関と連携を図る。

ハザードマップの住民説明は 5月から自治会単位に実施中



あかまる ひでお 議員
赤丸 秀雄 (新誠会)

質問 各自治会で実施中の本年3月改訂ハザードマップの説明会では、町民からどんな意見が出ているか。また、説明会終了時期は。

町長 説明会は10月には全行政区終了する計画である。主な意見として「自宅及び自宅周辺の災害リスクが把握できた」「内水氾濫について理解できた」「想定最大規模雨量とはどのぐらいの雨か」などの声が多く聞かれた。

質問 近年、内水氾濫の被害が多いと思われるが、町内の内水氾濫対応の説明は。

町長 大きな川の増水で、小さな河川や側溝の水が流れ出なくなり、道路などに溢れて水害となる事象を説明し、注意喚起に努めている。

避難の実効性を 高めるには

避難訓練等の 実践が重要

質問 災害から身を守るうえで最も重要なことは「平常性バイアス」や「同調性バイアス」にとらわれない心構えとマイタイムライン作成だと思いが。

町長 防災研修・講習会などで、浸透に努める。

放課後児童の 居場所確保は

児童館・ キッズクラブ活用を

質問 放課後の児童の居場所問題は全国的課題であるが、本町の児童館・キッズクラブの定員や運営に支障はないか。

教育長 本町の児童館・キッズクラブは、ともに希望者全員が利用可能。1人あたりの

若者の定住推進は 県や広域市町と 連携し対応

スペース規定はあるが、空き 教室などの活用で対応可能。

質問 若い方々の定住推進に雇用の確保、子育て環境充実が重要と思いが町の考えは。

町長 県や広域市町などと連携し、若い世代の定住推進のため、雇用・子育て環境の充実に努める。

矢町町 マイ・タイムライン(わが家の避難行動計画)					
防災気象情報 (避難の必要性)	1 平常時	2 気象状況の悪化	3 災害のおそれあり	4 災害のおそれ高い	5 災害発生または初発
警戒レベル 町が発令する 避難情報等 行動の目安	気象状況悪化のおそれ 最新情報の収集 災害への心構えを高める 最新情報に注意 情報の入手 テレビやラジオ、防災無線、スマートフォン、インターネット、防災アプリ、防災マップ、防災グッズ、防災グッズのチェック、家族で確認し、話し合おう。 ラジオや防災無線、スマートフォン、インターネット、防災アプリ、防災マップ、防災グッズ、防災グッズのチェック、家族で確認し、話し合おう。 ラジオや防災無線、スマートフォン、インターネット、防災アプリ、防災マップ、防災グッズ、防災グッズのチェック、家族で確認し、話し合おう。	気象状況悪化 防災体制の強化 防災マップ、マイタイムラインを確認し、避難場所を確認しよう。 防災マップ、マイタイムラインを確認し、避難場所を確認しよう。 防災マップ、マイタイムラインを確認し、避難場所を確認しよう。	高齢者等避難 危険な場所から 高齢者等は避難 避難の開始 町から避難情報(避難レベル)が発表されたら、速やかに避難を開始しよう。 町から避難情報(避難レベル)が発表されたら、速やかに避難を開始しよう。 町から避難情報(避難レベル)が発表されたら、速やかに避難を開始しよう。	避難指示 危険な場所から 全員避難 避難の開始 町から避難情報(避難レベル)が発表されたら、速やかに避難を開始しよう。 町から避難情報(避難レベル)が発表されたら、速やかに避難を開始しよう。 町から避難情報(避難レベル)が発表されたら、速やかに避難を開始しよう。	緊急安全確保 命の確保 直ちに安全確保 避難の開始 町から避難情報(避難レベル)が発表されたら、速やかに避難を開始しよう。 町から避難情報(避難レベル)が発表されたら、速やかに避難を開始しよう。 町から避難情報(避難レベル)が発表されたら、速やかに避難を開始しよう。
私と家族の防災行動計画 風水害(大雨・洪水)・土砂災害等	避難先 自宅 家族 近所 親戚 友人 公民館 学校 職場 避難所 その他	避難先 自宅 家族 近所 親戚 友人 公民館 学校 職場 避難所 その他	避難先 自宅 家族 近所 親戚 友人 公民館 学校 職場 避難所 その他	避難先 自宅 家族 近所 親戚 友人 公民館 学校 職場 避難所 その他	避難先 自宅 家族 近所 親戚 友人 公民館 学校 職場 避難所 その他

一般質問 町政を問う

一般国道四号盛岡南道路への 要望の取扱い

地域の意見、反映に努める



やまもと よしあき
山本 好章 議員
(新誠会)

質問 国道設計を進めるにあたって関係8自治会会長名で要請書が提出されていると聞く。その内容は、盛岡南道路が完成したことにより地域が分断されないよう「地域住民が現在利用している生活道路を確保」「農業用道路の確保」「安全に通学できる道路の確保」「芋沢川の洪水時の対策」とあるが、どのように対応しているか。

町長 一般国道四号盛岡南道路は国土交通省の直轄事業として岩手河川国道事務所において事業の調査・設計などを行っている。

要望書の内容は伝えてあり、今後も地域の意見が最大限事業に反映されるよう地域との調整を行う。

質問 要望書に対する町の方針はどうなっているのか。

町長 交差する町道のすべての乗り入れを要望している。

質問 情報が少ないので、いろいろな憶測が出ている。情報を発信してほしい。

町長 国道の素案が出ると簡単には変えられないので、調整のうえ、できることは情報提供をし、地域の意見を反映できるようにしていく。

学校施設改築 など見通しは

施設調査に

基づき検討する

質問 矢巾町学校教育施設長寿命化において、今後約20年以内に使用目標年数を越えることになるが今後の見通しはどうか。

教育長 町学校教育施設長寿

命化計画は令和3年度から5ヵ年計画で「小破修理」及び「部位修理」を中心に対応し、以後は施設調査に基づき、財政状況などを踏まえ検討する。暖房設備などの設備管理計画も同様に取り進めている。

質問 町立小中学校の適正規模、適正配置に関する基本方針を策定するにあたり、学区の見直しはあるのか。

教育長 基本方針は来年1月をめどに策定する予定である。この基本方針ののっとり、今後の本町の教育の在り方について、教育課程、教育環境整備、通学路など多岐にわたりに検討することになると認識している。小学校区の見直しも検討が必要な項目の一つである。

質問 教育環境の充実のための学校施設・設備の修繕を。

教育長 学校の要望を取りまとめ優先順位を付して予算協議を実施している。学校を回り改善を進めていきたい。



一般国道4号南道路の建設調査・設計が進められている

物価高騰対策は 既存支援の拡充と新たな対策で



おがわ ぶんこ 議員
小川 文子 議員
(日本共産党矢巾町議団)

質問 物価高騰が続くことから農業への支援を伺う。

町長 畜産農家には昨年度の支援を拡充し、子牛にも助成する。

肥料上昇分は7割を町農業再生支援協議会で支援したことから状況をみて検討する。

質問 中小企業者への県の支援が始まったが町として上乗せできないか。

町長 当該事業への上乗せは実施していないが、貨物自動車運送事業者へは上乗せしており、他事業者へも状況を踏まえて新たな対策を進める。

質問 一人親世帯や非課税世帯への支援ができないか。

町長 県が児童一人あたり5万円支給しており町独自は考

一般質問 町政を問う



子牛にも助成拡大

えていないが、非課税世帯へ3万円の給付事業を実施している。

エアコン設置に 助成を

現在は考えていない

質問 熱中症対策としてエアコン購入補助ができないか。町営住宅にもエアコンが欲しいという声があり伺う。

町長 対象者が著しく限定され、補助金としての公平性が確保できず困難である。

質問 病気などの身体状況、所得、年齢に配慮した新たな

補助ができないか。
町長 現在のところ導入の考えはないが熱中症予防対策を広く周知していく。

マイナ保険証の 問題は

問題の事例はない

質問 受診の際マイナ保険証のトラブルが発生して問題となっているが本町の状況は。

町長 問題の事例はない。

質問 医療機関での対応で問題などがあつたか把握しているか。

町長 紫波郡医師会へ確認したところ、資格確認について問題はなく順調であった。

質問 町民からの問い合わせやマイナンバーカードの返納状況は。

町長 町民から問い合わせが数件あり、返納は5件となっている。

学童保育の運営について 適切に実施されている



おがさわらよしこ
小笠原佳子 議員
(公明党)

質問 学童保育は保護者が昼間家庭にいない小学生に対して健全育成を図っている。町内各事業者による差異はあるのか、またその評価は。

児童1人あたりのスペースや支援員の基準はあるのか。

また、新しい宅地開発で需要が高まった場合の対応は。

教育長 各事業者とも適切な事業運営であり、イベントなどの特色はあるが、大きなサービス格差はない。

スペースは1・65平方メートル以上確保されており、指導員の配置についても基準を満たしている。

定員は設けておらず、小学校の教室など対応は可能であると捉えている。

不在者投票の 電子申請は

次回選挙より対応

質問 不在者投票の投票用紙の請求をマイナンバーカードで電子申請出来ないか。

町長 次回の選挙より対応すべく準備する。

「ミライロID」 の連携は

内容を精査し検討

質問 当町の障害者手帳交付者数について伺う。

また、町内施設で障害者手帳アプリ「ミライロID」を連携させることにより、町内施設での割引、減免を行い、手帳を所持する方の利便性向上を図れないか伺う。

町長 令和4年度の交付者数は、身体障害者手帳が1005人、精神障害者保険福祉手帳が206人、療育手帳が247人である。

音声コードの 経費について

金額示せない

町内の公共施設との連携は「ミライロID」の内容を精査して検討する。

町長 「音声コード」の印刷物を当町で新規導入にした場合の経費について伺う。

町長 音声コード生成アプリは無料で貸与できる。

しかし、印刷物の形状や印刷物の枚数により、「切り欠き」(音声コードの位置を示す加工)や印刷の費用が決まることから、金額は示せない。



地域おこし協力隊(岩隈夫妻)とひまわりを植えた(東児童館)

※ミライロID…障害者手帳のスマホ用アプリ

小中学校の給食費 無償化について

国や県レベルでの対応が必要



きむら ゆたか
木村 豊 議員
(日本共産党矢巾町議団)

質問 新型コロナウイルス感染症で設けられた国の地方創生臨時交付金を使った学校給食費の無償化は、期間限定で実施する自治体を含め、今年度実施予定として全国482自治体、県内も10自治体に及んでいる。これは約30%にあたる。しかも全都道府県に広まる勢いであることから本町でも実施、または小中学校給食費の半額補助を検討してはどうか。

教育長 本町は、要保護・非要保護世帯への支援に加え、本年度から多子世帯への支援として、町内小中学校に通学する児童生徒の第3子以降の給食費を無償とした。

本年6月に「経済財政運営の改革の基本方針2023」について「が閣議決定され、こ

の中で学校給食費無償化の課題整理などを行うことが示されていることから、この動向を注視し、今後対応する。各自自治体で、独自に学校給食の無償化を含めた軽減措置を進めていくことにより、自治体間の格差が生じると推察

されるため、国や県レベルでの対応が必要と考えている。
**会計年度任用
職員の待遇は
国の制度改正や
社会情勢を鑑みる**

一般質問 町政を問う



バランスの取れたおいしい給食

質問 最低賃金の全国平均が1,004円になり10月以降適用される中、本県は893円にとどまっている。これは全国最下位である。

本町にとってなくてはならない存在である会計年度任用職員は何名か。職員との比率はどのようになっているか。そして、平均年収や時給はどのようにになっているか。

町長 本町の会計年度任用職員は125名であり、全職員の約4割となっている。会計年度任用職員の平均年収及び時給につきましては、職種や勤務時間などの条件に左右され、一概に申し上げられないところであるが、標準的な職種における年収は130万円から290万円ほど、時給は857円から1,455円となっている。

報酬は、国の制度改正や社会情勢を鑑みながら、これまでも対応してきた。今後も、国の動向を注視しながら、町の給料体系について随時精査したいと考えている。



さいとう かつひろ
齊藤 勝浩 議員
(矢巾未来の会)

人口3万人構想の進捗は 目標年での達成は厳しい状況

質問 矢巾町は第7次総合計画の基本構想で人口3万人構想を掲げ、実現に向け取り組んでこられた。これらの計画実現は可能なのだろうか。

町長 目標とした人口3万人達成に向け、各種施策を推進してきたが少子高齢化の影響は大きく「元氣な町」と言われる本町でも人口は横ばいの状況である。

現在、町内3カ所で大規模宅地開発を進めているが、全ての区画への居住が概成するまで5年から10年程度かかる見込みであり、その後は緩やかな人口減少に転じ、3万人達成は困難と予想される。持続可能な町、次世代へ負担を残さない町づくりを図り、財源確保に向け関係各所と連携を図っていく意向である。

健康寿命延伸策 の取り組みは

状況変化を再検証し 改訂を進める

質問 町は「目指せ！日本一健康なまち、やはば」を掲げ、町民の健康増進に取り組んできた。今後は町民が自然体で「健康を育てる」習慣や環境、そして北国でも通年競技が行えるスポーツ施設などの整備を進め「健康寿命延伸策」として取り組む意向はないか。

町長 町は、「いつでも、どこでも、いつまでも」をモットーに町民スポーツ大会やイベントを実施してきた。また、町民アンケートを参考に「矢巾町新運動公園整備構想」でスポーツイベントや、有事の際には防災拠点となる施設で検討してきたが、昨今近隣市町村や不來方高等学校第3体育館新設決定があり、構想時との状況変化を再度検証・精査したうえ、改訂を進め実行していく意向である。

循環型社会構築 への取り組みを

目標達成に向け 取り組む

質問 町は「環境に配慮し、次世代に承継できるまちづくり」を目標に掲げ脱炭素、地球温暖化対策に取り組んできたが、町民への推進はどのような基準で計測し、進捗度合



人口3万人を目指すわが町

いをどう表現していくのか。
町長 町は、公共部門においては削減目標と指数を示し取り組んできたが、この問題は全世界が目標とするものである。

現在重点対策加速化事業を展開しており、次の段階として町域全体の指標を定め温室効果ガス排出量の可視化、計測を行いながら目標達成に取り組む。

長期休暇中における 学童保育での昼食提供は 保護者ニーズを調査し検討



たかはし けいた 議員
高橋 敬太
(子育ても老後も)

質問 国では夏休みなど、学童保育における昼食提供を求めている。学校給食にはすべての家庭が助けられており、長期休暇中に給食が無くなることでの、子どもの栄養不足などが懸念される。

他の市町村では、事前申し込み制のお弁当購入システムを導入しているところもあり、354万2千円の予算を計上している。本町では、学校給食協同調理場の民間委託により350万円が削減となったが、経費削減の成果として、学童保育の昼食提供に予算を充当し、実施できないか。

教育長 輸送など、クリアしなければならぬ課題も多く考えられる。先進事例や他の市町村を注視し、検討する。



学童保育でのお弁当提供事例
(大阪府箕面市ホームページより引用)

小・中学校の 通学区域について

課題をしっかりと捉え、

基本方針を策定

質問 国や県の方針では、1学年複数学級であることが望ましいとされている。本町で

は小学校に一部解離があるが、どのように捉えているのか。

教育長 ご指摘のとおりである。各指針を尊重したうえで、保護者アンケートや教育委員会が捉えている本町の課題をしっかりと踏まえ、「矢中町立小中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」を策定していきたい。

質問 煙山小学校は2つの中学校へと分かれる。思春期を迎える子どもにとって、仲の良い子と離ればなれとなるのは、進学後の交友関係の形成においてリスクではないのか。

教育長 中1ギャップにより不適応を起こす子どもがいるのも現実である。まだ詳細な分析データはないが、ご指摘の点も1つの分析の観点とさせていただく。

質問 児童数の偏りは児童館での生活にも影響が出ている。特性に応じた保育が重要であるが、十分なスペースを確保できていないのも現実であり、基準を満たしているから大丈夫と素直には感じられず、課題も多い。子どもの性格をよく理解している保育園と連携することで、児童館での子どもの保育環境の向上と職員の負担軽減につながるのではないか。

教育長 児童館と保育園などとの交流はこれまで行われてこなかった。連携の体制づくりを検討していきたい。

ルール変更後の影響は 現時点では影響なし



ササキマサヒコ 議員
(新誠会)

質問 ふるさと納税が10月からルール変更されるが、それによりどのような影響があるのか。

町長 寄附金の受領証明書などの発行費用を寄附金の募集に要する費用に算入する取り扱いに変更となるが、上限の寄附金総額の5割以下であることから影響はない。

質問 矢中の町章をグッズ化し返礼品などに活用して、矢中町を全国に知ってもらおうきっかけにしてみてもいいか。

町長 非常に良いアイデアだと思う。有効であるため、ぜひ取り組みを進めたい。



町章グッズ制作例
※ササキマサヒコ議員が個人で作成したもの

田園ホールの 稼働状況は 順調に進んでいる

質問 田園ホールはどのような稼働状況か。

また、音楽のまち宣言をしていることから、音楽ライブなどをより積極的にやってみては。

町長 今年度計画されている事業は順調に進んでいる。本町は音楽のまち宣言のもと「どこからでも音楽が聞けるまち」を目指し、田園ホールを中心として様々な事業を展開している。

質問 若い世代に向けての音楽ライブなどは出来ないか。

町長 本町としても若者が集うイベントは、ぜひ開催した

いと思うが予算の関係もあるので、国や県とも相談して進めて行きたい。

徳田地区の養豚 農場の悪臭は 飼育方法は 指導していない

質問 設備を整備して悪臭を抑えるという考えもあるが、養豚事業として悪臭を放たない飼育方法などを指導することも必要と思うが。

町長 悪臭の改善を継続的に要望してきたが、飼育方法は企業の手法で行うことなので、指導は行っていない。

質問 岡山県内企業のバックチャーターという製品で腸内環境を整えてくれる飼育の仕方を、指導という考えではなく悪臭解決のための情報提供をしてみてもいいか。

町長 新しい事業者は町よりも情報を持っている。今後の対策に期待したい。



町民と議員をつなぐ会

令和5年度矢巾町議会主催

矢巾町の議員って、どんな人たち？

普段はどんな活動をしているの？

私の声も伝えてもらいたい…

**その疑問や願いに、
私たち議員は応えます**

1
回目

と き 令和5年11月11日（土） 15時30分～ 受付は15分前
ところ やはぱーく 3階 会議室
議 員 高橋 敬太・横澤 駿一・藤原 信悦・齊藤 勝浩・小川 文子
山本 好章・昆 秀一・赤丸 秀雄・廣田 清実

2
回目

と き 令和5年11月12日（日） 10時～ 受付は15分前
ところ 矢巾町公民館 3階 視聴覚室
議 員 高橋 恵・ササキ マサヒロ・吉田 喜博・木村 豊
小笠原 佳子・高橋 安子・水本 淳一・村松 信一・谷上 知子

- 体調不良の場合は、参加をご遠慮願います。
- 駐車場の混雑が予想されますので、あらかじめご了承ください。
- 事前のお申し込みは不要です。
- お問い合わせ先 矢巾町議会事務局 電話：611-2801
E-mail：gikai@town.yahaba.iwate.jp

過去の議会だよりは
町議会ホームページ
に掲載中



第8次矢巾町総合計画策定調査特別委員会

■これからの予定
町民の視点に立った行財政運営に資するため、総合計画の立案過程から積極的に調査研究を行い、わかりやすく実効性の高い総合計画の策定に寄与していきます。

■役員
谷上 知子 委員長
水本 淳一 副委員長
高橋 安子 幹事
吉田 喜博 幹事
小川 文子 幹事

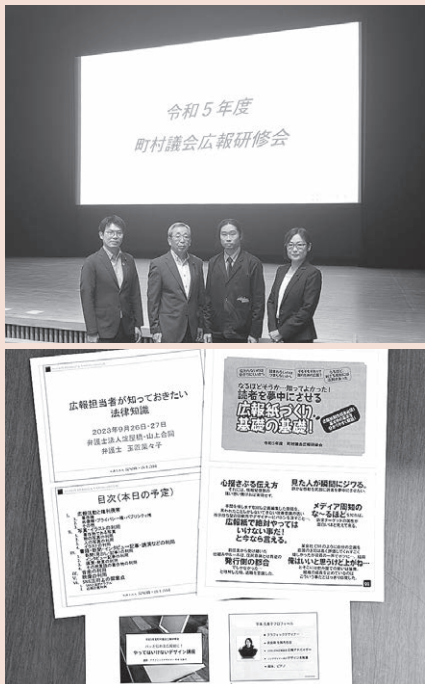
議会では、9月会議で第8次矢巾町総合計画策定調査特別委員会を設置しました。
令和5年度は、第8次矢巾町総合計画の基本構想及び前期基本計画を策定する年となっており、総合計画は、町すべての計画の基本となり、町づくりの最上位に位置付けられている計画です。

議会からのお知らせ

広報広聴常任委員会

広報分科会の活動報告

研修会への参加や視察を通じて、町民の皆様が親しみのもてる、読みやすい議会だよりの発行を目指し活動を行っています。



⇒ 研修レポート

面白い議会だよりを目指して

⇒ 報告者 高橋 敬太 委員

令和5年9月27日に全国町村議会議長会主催の広報研修会が東京で開催され、4名の広報委員会メンバーが参加いたしました。読みやすいデザインや字体、惹きつけるキャッチコピーや内容、さらには著作権に関する法律まで、多くの学びを得ることができました。また、本町の議会だよりがもっと面白くなる可能性も感じました。

この経験を活かし、楽しく読んでも頂ける魅力ある議会だよりの作成に励み、「議会だより、面白くなったね!」と言ってもらえるようにこれからも頑張つて参ります!

⇒ 視察レポート

伝えるだけの紙面から 読みたい紙面へ

⇒ 報告者 高橋 恵 委員



令和5年10月10日に岩泉町議会を視察

いわずにみ議会だよりは、全国町村議会広報コンクールで最優秀賞など入賞の常連で「町民参加の紙面づくり」「読みやすい紙面づくり」「見出しでわかる紙面づくり」の基本方針があり、紙面中、行政・議会用語はなるべく言い換え、分かりやすく読みやすく、また、町の施策に対する「まちの声」などを掲載。多くの写真を使用し、伝えきれない事項はQRコードを活用している。今回、議会だよりとは、議会と町民の懸け橋になるべき役割だということ再認識し、読みたい紙面となるよう今後の編集に活かしたい。

ようこそ やはばへ

行政視察を受け入れました!



福島県金山町議会

令和5年7月11日(火)

福島県金山町議会から議員13名が来町し、矢巾町の水道事業と広域WIFI事業について視察されました。



静岡県伊豆市議会

令和5年7月13日(木)

静岡県伊豆市議会から議員9名が来町し、フューチャーデザインによる水道料金の改定について視察されました。



長野県飯田市議会

令和5年8月9日(水)

長野県飯田市議会から議員8名が来町し、フューチャーデザイン手法による水道料金の検討について視察されました。



行政視察とは

行政視察とは、議員が他自治体等の施策や実情について調査・研究し、行政の適切な運営を監視する機能の強化や議員の専門的見識を広げることがを目的に行われます。

矢巾町の施策や取り組みを他市町村議会議員の皆様を知っていただくことができます。重要な機会ととらえています。



議会を傍聴して



やえはた ひろこ
八重畑 博子さん
(高田1区)

今まで「議会だより」は、時々目を通して終わりという感じでした。しかし、今回実際に議会を傍聴したことで、少し身近に感じられるようになりました。

とても身近な方が議員になったことで、以前より関心が深まったことも事実です。特に女性議員の方の一般質問を中心に傍聴したこともあり、普段の何気ない会話から質問につながることもあるのだと

実感しました。

こまやかな視点で質問をし、それにきちんと答えてもらい、すぐに「このような事例があります。」と質問をするなど、わかりやすい話し方にも共感できました。

そして、中学校の同級生達が目の前でごんばっている姿に、尊敬の心が強くなり、今後ごんばってほしいと思いました。

みなさんを応援しています。

先進地から学ぶ

矢巾未来の会及び日本共産党矢巾町議団に所属する計5名の議員で、令和5年7月23日(日)から25日(火)まで調査研究のため先進地視察を行いました。



リサイクルが町づくり

徳島県上勝町
合同会社.パンゲア

研修概要・報告

日本で初めてゼロ・ウェイスト(ごみをゼロにすること)を目標に廃棄物を減らす)宣言がなされた徳島県上勝町にあるリサイクル施設パンゲアを視察した。住民自らがごみを45に分別し再資源化する取

り組みについて学習した。上勝町では、再生する意識、衛生を保つ意識、地球環境への意識の、3Rへの取り組み意識のレベルが高いと感じた。これらの取り組みは、行政と住民の連携が実績に結び付いており、また、はつらつとごみの分別に取り組み高齢者の姿に感激した。このような連携のなかで発展していく町政を参考としていきたい。

オレンジカフェと子育て支援

徳島県三好市
三好市環境福祉部

研修概要・報告

認知症の方の居場所となるオレンジカフェと、子育て支援センターの取り組みについて学習した。

オレンジカフェでは、認知症の方に貼る「お出かけ見守りQRシール」がかわいらしくデザインされており、大きさは機能が参考となった。

子育て支援については、小中学校給食の完全無償化や育児用品購入補助事業、乳児家庭保育支援給付事業など、子育てに関する手厚い施策がなされており、参考となった。急激な人口減少と少子高齢化は全国共通の課題であるが、そのなかでも懸命に工夫し住みよいまちづくりに取り組まれている姿勢がとても印象的であった。本町の町政運営においても、その姿勢は参考としていきたいと感じた。



木村さんが運営する英語教室

英語教室

キッズ イングリッシュ スクール トウユー
Kids English School TOU.

児童英語講師 **木村 静香** さん (東徳田1区)

英語と私

「ハロー！」子どもたちの元気なあいさつからレッスンは始まります。幼児クラスでは、歌や私の掛け声に合わせて体を動かして遊び、全身を使って英語に触れていきます。みなさんの笑顔や「楽しかった！」の声にいつも元気をもらい、次はどんなレッスンをしようかと毎回ワクワクしながら考えています。

私は矢巾町に生まれ育ち、英語は小学生になってから習い始めました。当時は読み書きが中心で、会話の機会はほとんどなく、英語を使って話をする面白さを知りませんでした。しかし、矢巾町の姉妹都市アメリカ・フリモント町でのホームステイ体験をきっかけに、英語で話すことの楽しさを知りました。当時は辞書を片手に頭をフル回転させながら会話をし、現地の生活

文化や学校のこと、当時の流行などたくさん教えてもらうことができました。また、私の英語が通じて話が盛り上がった時はとても嬉しかったことを覚えています。この時からもっとたくさん英語で話したいという思いが強くなり、今でも英会話の勉強を続けています。

「楽しく英語を身につける」をモットーに、読み書きも会話も全部を教えられる教室を開きたいと思い、昨年念願の英語教室を立ち上げました。今では赤ちゃんから大人まで幅広くレッスンをしています。今年も矢巾町国際交流協会の一員として、4年ぶりに来日したフリモント訪問団の通訳もさせていただきました。とても緊張しましたが、時を経てまたこうして携わることができ、とても嬉しかったです。これからもたくさんのお会いやご縁を大切に活動していきたいと思っています。

あしがき

2回目の広報紙担当になりましたが、興味を持って読んで頂ける紙面作成は難しいです。先日岩泉町に視察研修に伺い、QRコード添付など良い点は見習って参ります。今後もご意見などいただければ幸いです。

広報広聴常任委員会
副委員長 小笠原 佳子

お詫びと訂正
令和5年7月25日発行のやはば議会だより225号で表記に誤りがありました。謹んでお詫びいたします。

5ページ 誤「令和6年3月31日」
正「令和6年3月29日」

6ページ 誤「過般ポンプ」
正「可搬ポンプ」

18ページ 誤「高区排水塔」
正「高区配水塔」

発行・編集責任者
議長 廣田 清実

編集委員
委員長 藤原 信悦
副委員長 小笠原 佳子
委員 高橋 恵
高橋 敬太
ササキマサヒロ

過去のやはば議会だよりは町議会ホームページに掲載中

